

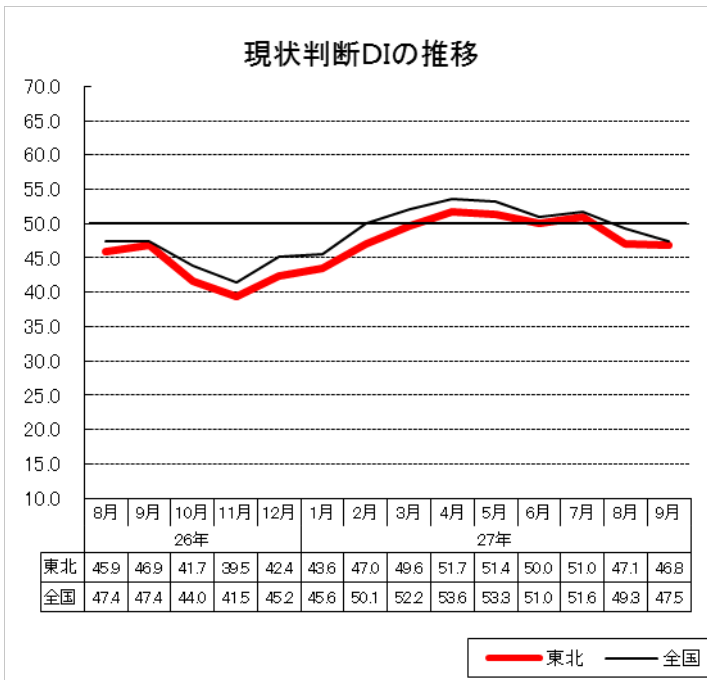
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 27 年 9 月東北分
(新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 27 年 9 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「46.8」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.3 ポイントとわずかに下回り、2か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



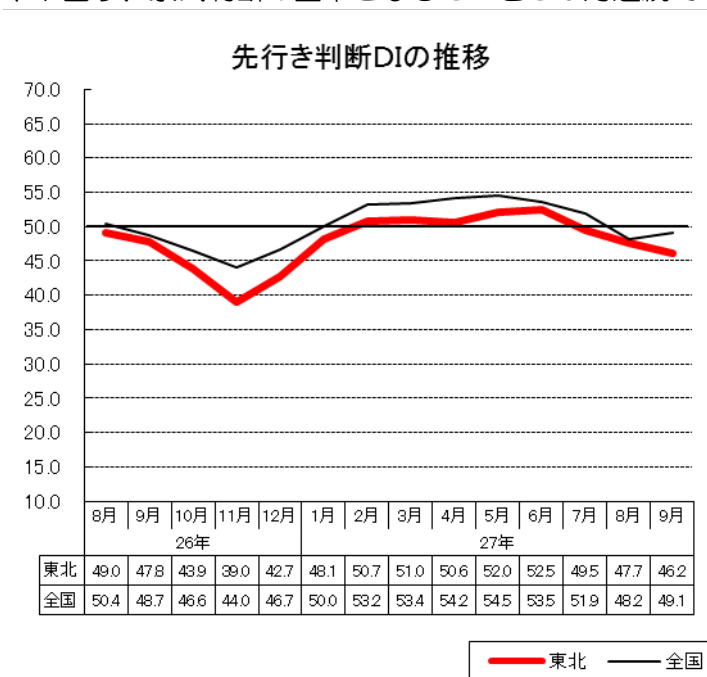
・家計動向…旅行代理店、高級レストラン、一般レストラン、住関連専門店等の業種で DI が前月を上回ったが、家電量販店、都市型ホテル、住宅販売会社等で DI が下回った。DI は「45.6」（▲0.6）と 2 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 4 か月連続で下回った。

・企業動向…輸送用機械器具製造業、コピーサービス、農林水産業従事者、食料品製造業、金融業等で DI が前月を上回ったが、それ以外の業種では DI が前月から横ばいもしくは下回った。DI は「48.7」（+1.2）と 2 か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 については 2 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「51.1」（▲1.2）と 2 か月連続前月を下回ったが、基準値 50 を 3 か月連続で上回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「46.2」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.5 ポイントとやや下回り、景気判断の基準となる 50 を 3 か月連続で下回った。



・家計動向…家電量販店、美容室、住宅販売会社、百貨店等で DI が前月を上回ったが、それ以外の業種は、横ばいもしくは下回った。DI は「45.0」（▲1.9）と 4 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 3 か月連続で下回った。

・企業動向…その他サービス業、繊維工業、輸送用機械器具製造業等一部の業種で DI が前月を上回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは下回った。DI は「46.8」（▲2.6）と 2 か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 3 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「52.3」（+2.3）と、3 か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を 5 か月連続で上回った。

<参 考>

■DIの推移※

(1) 現状判断(方向性)DI

	26年					27年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北現状	45.9	46.9	41.7	39.5	42.4	43.6	47.0	49.6	51.7	51.4	50.0	51.0	47.1	46.8
家計動向関連	44.8	46.2	40.2	38.6	41.3	42.5	46.0	49.1	51.6	53.0	48.6	48.7	46.2	45.6
企業動向関連	47.0	50.0	44.0	40.5	44.6	44.6	50.0	50.6	53.0	46.4	55.4	56.1	47.5	48.7
雇用関連(参考)	51.1	45.5	46.6	43.2	45.5	48.9	47.7	51.1	50.0	51.1	48.9	56.0	52.3	51.1

(2) 先行き判断DI

	26年					27年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北先行き	49.0	47.8	43.9	39.0	42.7	48.1	50.7	51.0	50.6	52.0	52.5	49.5	47.7	46.2
家計動向関連	49.7	47.9	43.5	38.1	41.8	47.3	51.0	51.2	50.7	52.8	51.0	49.3	46.9	45.0
企業動向関連	46.4	51.2	45.2	40.5	44.6	51.8	50.0	49.4	51.2	50.0	56.5	48.2	49.4	46.8
雇用関連(参考)	50.0	40.9	44.3	42.0	45.5	46.6	50.0	52.3	48.9	51.1	54.5	53.6	50.0	52.3

※DI (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成27年9月25日～30日

回答者数 202/210名、回答率96.2%(全国1,864/2,050名、90.9%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL: 022-225-1426 FAX: 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（食料品製造業）…6年ぶりの9月の大型連休に加えて、アイドルグループのコンサートが開催されたこともあり、当市を訪れる客が非常に多く売上につながっている。

○「やや良くなっている」

（住関連専門店）…従来の商品構成を変えたことで、少しずつ売上を維持できている。今後も更に商品構成を変化させていくつもりである。

（高級レストラン）…単価による二極化がみられるなか、若干ではあるが高単価利用の来客数が増加の傾向にある。

（旅行代理店）…夏場の個人旅行は若干落ち込んでいたが、秋口は例年並みに戻ってきている。また、ふるさと旅行券の販売も売上増加に寄与している。

（美容室）…今月は来客数が前年並みに届いている。さらに、若干ではあるが客単価も上昇している。

（農林水産業）…天候に恵まれて、ももの販売は1週間早く最盛期を迎えている。そのため、旧盆の需要期以降は品薄状態が続いており、例年より2～3割高い価格で販売できている。

○「変わらない」

（スーパー）…台風や大雨などの影響により、農産物の価格が高騰している。また、その他の食品も値上げの傾向にあり、買上点数がやや落ちてきている。

（乗用車販売店）…新車の販売台数が伸び悩む一方で、中古車販売とサービス売上は堅調に推移している。

（一般レストラン）…来客数は良い時と悪い時が極端であり、全体的に景気が良くなっているようには見受けられない。また、客からもあまり良い話を聞くことはできず、業種による偏りがうかがえる。

（タクシー運転手）…相変わらず乗客数が少ない。客は節約を心がけているように見受けられる。

（通信会社）…復興需要のある建設業はまだ良いが、他業界の客からは相変わらずコスト削減の要求ばかりである。

（遊園地）…9月中旬までは天候不順であったものの、今年は6年ぶりの大型連休で好天にも恵まれている。新規オープンした水族館の影響がありながらも、前年はもちろん6年前と比べても来客数はわずかながら上回っている。

（建設業）…工事の出件数がやや減少しているように見受けられるが、既存の受注による手持ち工事量は高止まりしており、落ち着いた状況が続いている。

（通信業）…契約更新の際に他社へと切り替える案件が増加の傾向にある。

（人材派遣会社）…求人広告の申込数はほぼ横ばいで推移しており、前向きな要素はそれほど多くない状況である。

（職業安定所）…新規求人は5か月ぶりに増加しており、特に建設業、製造業の求人が増えている。しかし、正社員求人が思ったより伸びていない。

○「やや悪くなっている」

（商店街）…生活必需品の値上がりで非常に厳しい状況である。円安による輸入品、食料品、衣料品などの値上がりが一番の原因であるが、国内の食料品、野菜なども季節的な要因で値上がりしている。所得が思ったほど上がらないなかでこれでは厳しくなって当然である。8月ごろから良くない感じがしていたが、これはもう悪い方向に向かっているとしか言いようがない。

(医薬品販売店) …大型連休や台風の日に来客数が大きく減少しており、今月はここ半年の平均的な来客数からみても2割近く落ち込んでいる。単価はやや上向きに推移しているが、来客数の落ち込みをカバーするまでには至っていない。

(百貨店) …9月上旬～中旬にかけての大雨により、来客数に大きな影響が出ている。そのため、秋物商戦の立ち上がりの盛り上がりもなく、各アイテムの販売量は前年を大きく下回っている。

(コンビニ) …9月の大型連休は好天に恵まれ盛況であったものの、客単価の前年割れは依然として回復しておらず、苦しい経営が続いている。

(衣料品専門店) …8月後半からかなり涼しくなり、その勢いで9月の秋物の動きが活発になったが、途中から残暑が復活したことにより、勢いが少し削がれている。また、9月の大型連休において客足は行楽に向いており、買物に来てもらえない状況が続いている。

(酒類専門店) …急な気温低下の影響もあるのか、人の動きが急に落ち込んでいる。得意先の飲食店からも良い話を聞くことがなく、思った以上に静かな月となっている。また、9月の大型連休では都市部からの帰省客が目立ったが、家で過ごす傾向が多くみられており、売上に直接つながるような状況ではない。

(観光型ホテル) …今月は夏の繁忙期と秋の観光シーズンとの端境期である。9月の大型連休により月の3分の1以上が休日であるにもかかわらず、団体客がほとんどなく、宿泊人数が伸びないことから売上也伸びていない。北陸フィーバーには勝てないのか、客の目は東北に向いておらず、かろうじて新しくオープンした水族館への旅のコースに入っているくらいである。

(都市型ホテル) …東日本大震災の復興支援行事がほぼなくなっている。また、関東、東北豪雨による影響もある。好調であった建設関係の利用も、仕事量はあるものの人手不足や資材高騰の影響で利幅が少ないとの理由から、以前に比べて利用金額が制限されるようになっている。そのため、法人利用が少なくなってきた。

(住宅販売会社) …顧客単位で契約までに時間がかかるため、受注が計画を下回っている。

(リフォーム業) …受付件数は前年並みであるものの、供給高は前年比55.4%まで悪化しており、今後の予断を許さない厳しい状況である。

(出版・印刷・同関連産業) …3か月前までは前年同月並みの売上があったが、盆明け以降は急に仕事の動きが鈍くなってきており、売上は前年を下回っている。

(電気機械器具製造業) …半導体製品全般の価格が下落傾向にあり、業績に影響が出始めている。

(経営コンサルタント) …中心部の商店街では、長く続く天候不順が売上に影響している。

(新聞社[求人広告]) …求人は景気の手先を行くと言われていたが、ここしばらくは地元を中心に停滞している。復興がらみの企業も進出などを含めて一段落しており、新しい産業も活性化していない。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(高級レストラン) …現在の予約状況に加えて、10～12月の予約数も前年比を上回って推移しているため、先行きはやや良くなるとみている。

(広告業協会) …今年12月の地下鉄開業に合わせて、沿岸部の不動産、商業施設の開発などが活発になってきており、年末にかけて期待が持てる。

(民間職業紹介機関) …製造業の求人数が増加している。

○「変わらない」

(百貨店) …消費が喚起されるきっかけさえあれば、客は消費に動く。その一方、きっかけがなければ将来への蓄えなどにお金を回して、思い切った消費につながらない。客の選択はよりシビアになっており、今後もそのような状況が続くとみている。

(コンビニ) …客は単価の安いものを狙って買物をしており、この状態が良くなるとは判断しにくい。ただし、ガソリン価格が下落していることは好材料である。冬の気候にも左右されるが、良い意味でも悪い意味でも小康状態が続くとみている。

(乗用車販売店) …9月は各社が決算セールを展開したが、思ったほどの成果につながっていない。何かしらの思い切った施策を立てなければ先行きが見えない状態である。

(美容室) …価格競争により、今や安いお店にはかなわなくなっている。

(食料品製造業) …状況が変化する要素が見当たらないため、このまま厳しい状態が続くとみている。

(繊維工業) …消費者のマインドは大きく低下しており、今後もこのような状態が続くとみている。

(建設業) …補正予算の状況次第で公共工事の発注が拡大する可能性もあるが、現状では既発注業務、工事の執行だけで予算が手一杯との見方が強い。

(新聞社[求人広告]) …今後の景気動向に不安を抱えている企業が多い。また、好転する材料も見当たらない。

(職業安定所) …求人の状態はここ数か月と変わりなくやや微増のまま安定している。また、現在のところ企業の大型の創業、管内への進出、また大規模な人員整理の情報もない。求人の好調感はあるものの、近い将来の求人の動向としては大きな変化はみられず、内容としても正社員に比べ非正規求人の増加が目立つため、景気が大きく改善するという印象はない。

○「やや悪くなる」

(医薬品販売店) …単価の高い客の来店頻度が落ちている。株価が大きく落ち込んでいる影響があるのか、客の表情にあまり余裕を感じられない。マインドが低調では消費は盛り上がらない。

(スーパー) …中国などの影響で株価の乱高下が激しくなっている。また、台風などの影響で野菜の価格も値上がりしている。今後の景気は波乱含みとなるのではないかとみている。

(衣料品専門店) …エルニーニョ現象により暖冬という予報が出ている。高単価なコートやジャケットの動きが減少し、売上の前年維持が厳しい状況になることを懸念している。

(パソコン専門店) …受注については、なんとか既存値までの仕事量を確保できているが、材料費の高騰や人手不足などにより経費が今まで以上にかかっているため、利益的には以前より厳しくなっている。

(都市型ホテル) …先の予約受注の増加とフリー客の増加が春先からの上昇傾向を支えていたが、今月から徐々に予約受注が伸び悩みはじめている。直接的な原因はわからないが、中国経済の減退など経済の先行きが不透明なため、人や会社の動きが鈍っており、先の予約受注につながらないのではないかとみている。

(出版・印刷・同関連産業) …印刷物の受注残高が前年を下回っており、先行きが厳しくなっている。

(金属工業協同組合) …ここにきて、大多数の企業が受注減の状態にあり、売上の減少が目立ってきている。

○「悪くなる」

(輸送業) …荷主から10月以降の大幅な値下げを強く要請されており、応えざるを得ない状況である。そのため、今後は厳しい経営環境になることが確実となっている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上